

第8回自然公園研究会 開催案内

(共催：北海道大学)

テーマ

山岳地・トレイルの協働型管理を考える

(テーマ設定の意図)

山岳地のトレイルや山小屋などの施設は、行政、事業者、山岳会などにより設置され、管理されています。それらの中には、地元の山岳会や市民団体が協力しているものも少なくありません。人員や予算の不足などの課題を抱えながらも山も愛する人々自身が山に恩返しする活動は、自然公園の管理において欠かせないものです。今回は、国内外の事例報告を受けて、行政と市民の協働による山岳地の管理の課題、今後のあり方について意見交換をしたいと思います。

日時

2016年2月15日(月) 13:30~17:00

会場

公益財団法人日本交通公社 大会議室 ※JR「東京駅」丸の内北口から徒歩2分
(〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 17階)

プログラム

13:30	開会
13:35~14:25	事例報告1: ボランティアの愛着と参加意欲~北米の緑化, 景観保全, アディロンダック公園などの事例から ロバート・ライアン氏 (マサチューセッツ大学 教授) 【日本語補佐】 亀井 佑矩 (たすく) 氏 (北海道大学大学院農学院)
14:25~15:00	事例報告2: 信越トレイルの取り組み 高野 賢一氏 (信越トレイルクラブ 事務局長/なべくら高原・森の家 支配人)
15:00~15:10	休憩
15:10~15:45	事例報告3: 七時雨山のトレイルランの運営と地域振興 谷 彩音氏 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
15:45~16:20	事例報告4: 大雪山における一般登山者のボランティア・山に恩返しツアー 佐久間 弘氏 (山樂舎 BEAR 代表)
16:20~17:00	議論 コーディネーター: 愛甲 哲也氏 (北海道大学大学院農学研究院 准教授)
17:00	閉会

※30分発表+5分質疑応答(報告1は日本語補佐付きのため45分発表)

※プログラムは、諸事情により変更になる場合もございますので、予めご了承ください。

※今回の研究会は「北海道大学・大学間協定校交流事業」の一部として行います。

